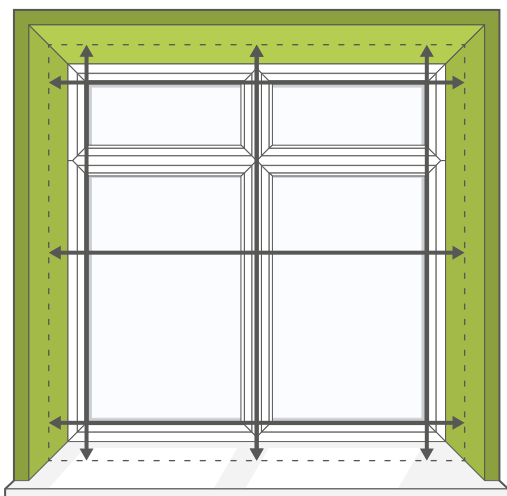


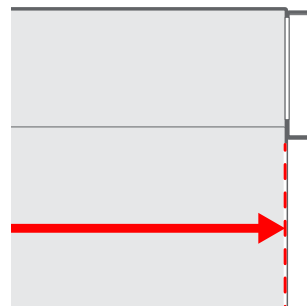
天井付け 窓枠の内側に取り付ける場合



「天井付け※」は窓枠内側におさめる取り付け方法です。本体上部のメカ部分や本体が全て窓枠内に収まるので、すっきりとした印象になるのが特徴です。周囲に家具などを置いた時に干渉しない点もメリットです。

※天井付けは図のように窓枠（木枠）内に取り付ける場合のほか、鴨居内など周辺が壁で覆われた中にシェードを設置する場合を含みます。

- 窓枠内寸を測ります。縦と横いずれも上の図のように3か所の寸法を測定するとより正確な数値が得られます。数値が異なる場合は、取り付けする箇所（上部）の寸法を入力します。数値に5mm以上の誤差がある場合は、そのまま取り付けると操作不良を起こす可能性があるため、カスタマーサポートまでご相談ください。
- ご注文の際は、ゆとりを差し引く必要はありません。窓枠内にフィットするように製造部門がご注文いただいた幅の数値から左右合わせて0.5cm小さく製作します。生地幅はロールスクリーンの構造上、ご注文いただいた寸法（窓枠内寸）から左右合わせて3.5cm小さくなります。丈はスクリーンが巻いてある筒が隠れるよう10-15cm長めに製作します。



アドバイス：

金属製メジャーを使用し、ミリ単位までお測り下さい。

アドバイス：

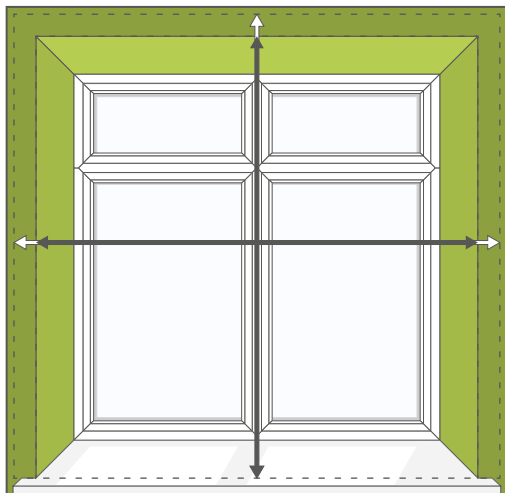
スクリーンを取り付ける窓枠の奥行きを確認しましょう。取っ手など障害物がないかもチェックしてください。（表参照）



必要な奥行き

ロールスクリーン
5cm

正面付け 窓枠の外側に取り付ける場合

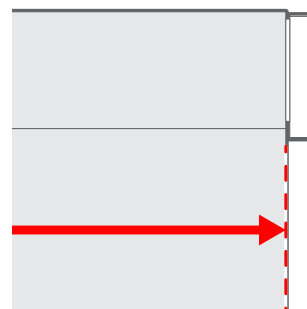


「正面付け※」は窓枠を覆うように取り付ける方法です。窓枠よりもサイズを大きくすることで、隙間からの光漏れが少なく、遮光に優れているのが特徴です。窓が大きく見える点もメリットです。

※正面付けは図のように窓上の壁面に取り付ける場合のほか窓枠正面、鴨居の正面、部屋の天井などに取り付ける場合を含みます。

- 窓枠外寸を測ります。

- 窓枠の上に7cm以上、左右に5cmずつに重なり分量を追加するのがおすすめです。ご注文いただいた寸法が製品サイズとなります。生地幅はロールスクリーンの構造上、ご注文幅から2.9cm小さくなります。



- 重なり分量は床、建具、障害物などを考慮してお好みの長さをご指定下さい。

壁面に取り付ける場合：

- ・ 窓枠が壁面からどれくらい突き出しているかご確認ください。突き出し量が1cm以上の場合は、生地巻き取り向きを逆（リバース巻き）にすることで窓枠との干渉を防ぎます。（リバース巻きご希望の方はカスタマーサポートまでご連絡下さい）。
- ・ 生地幅はロールスクリーンの構造上、ご注文いただいた寸法（全幅）から2.9cm小さくなります。（例：生地幅を50cmにする場合、52.9cmでご注文下さい。ただしブラケット金具を含めた全幅は52.9cmとなりますので、壁や障害物が52.9cm以内でないことをご確認ください。）

窓枠（木枠）に取り付ける場合：

- ・ 窓枠外寸でご注文下さい。窓枠の厚み（幅）は2.5cm以上必要です。
- ・ ロールスクリーンの構造上、生地幅はご注文いただいた寸法（全幅）から2.9cm小さくなります。